



報道発表資料の配付日時 8月31日(火) 13時00分

| | | | |
|------------------|---|-----------------------|--|
| 発表項目 (行事名) | 北海道産小豆と砂糖を使用したデザートの学校給食無償提供について (ホクレン農業協同組合連合会) | | |
| 記者レクチャー のお知らせ | (実施日時) | 発表者 | |
| | | 発表場所 | |
| 概要 | <p>ホクレン農業協同組合連合会は、新型コロナウイルス感染症拡大による土産物需要の減少で、消費が落ち込む北海道産「小豆」や「砂糖」を使用したデザート『あずきゼリー』を学校給食に無償提供します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 行事名 「北海道産小豆と砂糖を使用したデザートの学校給食無償提供」</p> <p>2 目的 道内の学校給食に北海道の農産物を原料とした「あずきゼリー」を提供することで、小豆・砂糖の消費拡大を図るとともに、北海道農業と道産農産物への理解を深め、今後の需要拡大につなげる。</p> <p>3 実施期間 令和3年9月1日(水)～9月28日(火)</p> <p>4 対象・提供数 道内小中学校約35万人のうち希望する小中学校 約15万個</p> <p>5 提供商品 あずきゼリー(販売者:サザエ食品株式会社)</p> | | |
| 参考 | <p>本事業は農林水産省が実施する「国産農林水産物販路多様化緊急対策事業」を活用する予定となっています。</p> <p>あずきゼリーの主原材料は、北海道十勝産小豆、砂糖は北海道産てん菜を使用しています。</p> | | |
| 報道(取材)に当たってのお願い | 今回、ホクレンが行う「あずきゼリー」の学校給食提供は、北海道の農産物の理解や興味を深め、需要拡大につなげることを目的としていますので、積極的な報道をお願いします。 | | |
| 他のクラブとの関係 | 同時配付 | 北農記者クラブ | |
| | 同時レク | ※JA北海道グループの定例記者会見時に配布 | |
| 担当(連絡先) | 農政部生産振興局農産振興課 (担当者:山根、片山) TEL(ダイヤルイン) 011-204-5434 (内線) 27-704、27-720 | | |



報道関係各位

令和3年8月31日
ホクレン農業協同組合連合会

北海道産小豆と砂糖を使用したデザート「あずきゼリー」の学校給食無償提供について

ホクレン農業協同組合連合会は、「国産農林水産物販路多様化緊急対策事業」を活用し、令和3年9月1日から9月28日までの期間で北海道内の公立小中学校、特別支援学校等に対し、北海道産小豆と砂糖を使用したデザート「あずきゼリー」を学校給食に無償提供いたします。

新型コロナウイルス感染症拡大による旅行需要減少に伴い、土産物の原料として使用されていた道産小豆の需要が減少している状況にあります。また砂糖も同様に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により消費が減少しております。

学校給食に提供するデザート「あずきゼリー」は主原材料が小豆（北海道十勝産使用）、砂糖（北海道産ビートグラニュー糖）となっております。小豆は国内生産量のうち約94%が北海道産、ビート糖は100%北海道で作付けされたてん菜から作られていることから、「あずきゼリー」の主原材料は北海道を代表する農産物となっております。

今回、ホクレン農業協同組合連合会が事業実施者となり、北海道農政部、北海道教育庁、市町村教育委員会、北海道学校給食会のご協力のもと、「あずきゼリー」を北海道内の学校給食へ提供することで、小豆・砂糖の消費拡大を図ります。また、提供学校では、「あずきゼリー」に関する食育活動を実施予定としていることから、北海道農業と北海道産農産物への理解を深めるとともに、北海道産農産物にもっと興味をもって頂き、需要拡大に繋げていきたいと存じます。

- 対象者 北海道小中学校等約35万人を対象に約4割に提供
- 提供数 約15万個
- 提供商品 あずきゼリー（販売者：サザエ食品株式会社）



【本件に関するお問い合わせ先】

ホクレン農業協同組合連合会 てん菜業務部 てん菜業務課

Tel:011-232-6145

つくる人を幸せに、食べる人を笑顔に



北海道産小豆と砂糖を使用したデザート为学校給食無償提供に関する補足資料

1. 北海道内学校数、生徒数、児童数データ（北海道教育委員会 HP より）

公立小学校 児童数 R2.5.1

| | 学校名 | 学級数 | 児童数 | | | | | | 合計 | | |
|--|-----|-----|-----|-----|--------|--------|--------|--------|----|---|---|
| | | | 1学年 | 2学年 | 3学年 | 4学年 | 5学年 | 6学年 | 男 | 女 | 計 |
| | | | 公立計 | 992 | 11,787 | 37,623 | 37,941 | 38,961 | | | |

公立中学校 生徒数 R2.5.1

| | 学校名 | 学級数 | 生徒数 | | | | | |
|-----|-----|-------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| | | | 1学年 | 2学年 | 3学年 | 合計 | | |
| | | | 男 | | 女 | | 計 | |
| 公立計 | 566 | 5,282 | 39,436 | 40,118 | 39,332 | 60,888 | 57,998 | 118,886 |

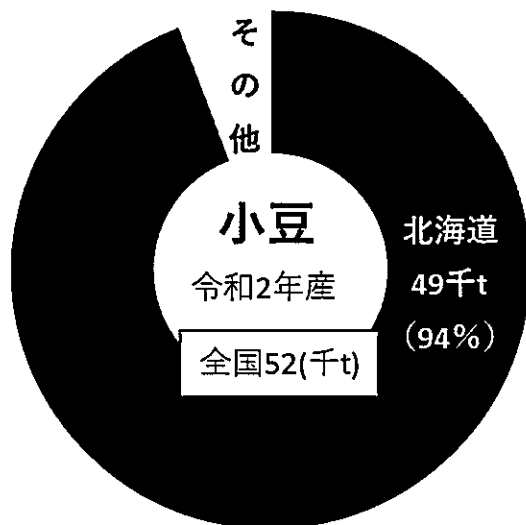
2. 北海道産小豆類の年間消費（ホクレン推算）

| | |
|----------|--------|
| 令和元年産 | 676 千俵 |
| 平成 30 年産 | 790 千俵 |
| 平成 29 年産 | 861 千俵 |

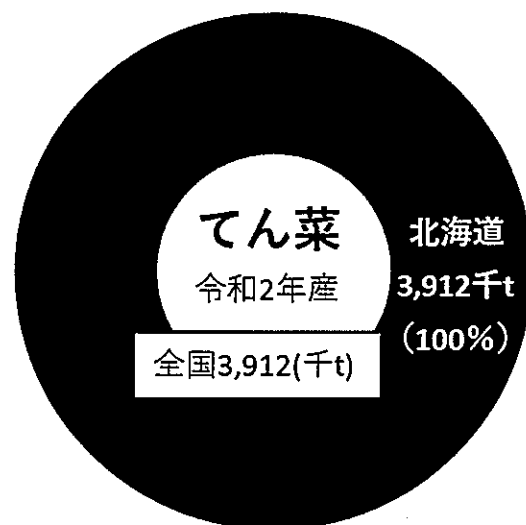
3. 砂糖の総需要量（砂糖及び異性化糖の需給見通し（農林水産省）より）

| | |
|--------------------------------------|-------------|
| 令和元砂糖年度（令和元年 10 月～令和 2 年 9 月） | 177 万 9 千 t |
| 平成 30 砂糖年度（平成 30 年 10 月～令和元年 9 月） | 189 万 5 千 t |
| 平成 29 砂糖年度（平成 29 年 10 月～平成 30 年 9 月） | 192 万 1 千 t |

4. 全国に占める小豆とてん菜の生産量シェア（農林水産省 HP より）



参考：作付面積（北海道）/
22,100ha（全国の 83%）



参考：作付面積（北海道）/
56,800ha（全国の 100%）